

# IBL REPORT

## 第31期 報告書

平成24年4月1日▶平成25年3月31日

## 株主の皆様へ To Our Shareholders



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第31期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の報告書をお届けいたしますので、ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

株主の皆様には、今後ともより一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 清藤 勉

## 第31期(平成25年3月期)業績の状況

当事業年度における我が国経済は、欧州諸国の債務危機問題や新興国の景気減速懸念などに加え、長期化するデフレの影響から先行き不透明な状況が続く中、12月の政権交代以降、経済政策及び金融緩和への期待から円高の是正・株価の回復が進行したことにより、景気回復の期待感が膨らみました。また一方では、エネルギー価格の上昇、雇用や所得面の回復が伸び悩み、先行き不透明感が払拭しきれない状況にありました。

当社の属する医薬品業界は、高齢化が進行する中、医薬品需要は増加傾向にあるものの、後発品の普及促進、薬価改訂による薬価引き下げ等の医療費抑制により、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は、開発面において、新規開発の遺伝子組換えカイコ事業及び医薬品の研究開発並びに研究用試薬の新製品開発に資源を集中し、開発スピードの加速、製品品質の向上、製品使用に対する安全対策の強化を目指し、全社一丸となり進めてまいりました。また、営業面では、販売網の拡大を図る為、海外に子会社を複数展開し、国内販売体制も全国に展開しているタカラバイオ株式会社と販売契約を締結し、売上高の増加を目指してまいりました。

その結果、当事業年度における販売につきましては、医薬用関連事業及びその他の事業である遺伝子組換えカイコ事業においては、計画通り推移いたしました。研究用関連事業において、当社及びタカラバイオ株式会社との連携の準備遅れや同社海外子会社の販売開始時期の遅れ等により、新規ユーザーの開拓が進まず、今までの既存ユーザーへの販売が主だったため、前年を大幅に下回る売上高となりました。利益につきましては、製造効率の改善、研究開発の選択と集中、販売管理費の経費削減を実施し、2期連続の黒字利益を確保することが出来ました。

なお、当事業年度のセグメント別での業績は、以下の通りとなりました。

### 研究用関連事業

研究用関連事業における販売につきましては、タカラバイオ株式会社と販売契約を締結し、研究用関連製品を国内外へ販売しております。

当事業年度の販売につきましては、海外においては、タカラバイオ株式会社の海外子会社における当社の既存海外特約店との代理店契約締結及び新規海外ユーザーへの販売活動の遅れにより、前年同期の売上高に比べ若干の減少となり、当初の想定売上高より大幅に減少いたしました。

国内においては、当社が創業より顧客毎のニーズに応え製造・販売を行ってきた受託サービスにおいて、契約関係や顧客要求事項の引継ぎ等の遅れにより受注が減少したこと、新規ユーザーの獲得が進まなかったこと、さらに、当第4四半期に期待していた年度末需要の売上増が見られなかったことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。また、当社取扱製品である細胞培養関連試薬等においても、売上高が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。これは、他社製品との価格競争が激化する中、価格競争力低下等の理由によると分析しております。一方で、当社が重要テーマとして取り組んでいるアルツハイマー病、がん・炎症及び糖や脂質代謝関連疾患に関する製品群の開発が進み、特徴を有する自社製品に対する販売増は進んでおります。

その結果、研究用関連事業の売上高は568,015千円(前年同期比18.9%減)、営業利益は63,142千円(同41.1%減)となりました。

### 医薬用関連事業

医薬用関連事業では、体外診断用医薬品の販売において、自社製造の牛海綿状脳症に対する動物用体外診断用医薬品が好調に推移いたしました。取扱商品においては、当事業年度に終了予定のヒト体外診断用医薬品のタグシッドTDMキットの販売が医療機関、医療検査機関等で堅調でありましたが、前期に販売終了している製品等の影響があり、前年同期に比べ若干の減少となりました。また、医薬シーズライセンスに関しては、米国BG Medicine, Inc.との抗ガレクチン-3抗体についての独占契約による契約料収入が発生いたしました。その結果、売上高は195,756千円(同8.9%減)、営業損失は48,989千円(前年同期は83,733千円の営業損失)となりました。なお、当セグメントにおいては将来に向けた重点的な研究開発等を行っていることから営業損失となっております。

### その他事業

その他事業では、遺伝子組換えカイコによるカイコの繭中に目的タンパク質を産生する生産技術により、自社抗体製品、動物用治療薬の原料、及びヒトコラーゲン配合化粧品原料の開発・生産・販売を行っております。

抗体製品・動物用治療薬の原料においては、順調に売上高も増加しており、高品質及び安全性の認知度が向上しております。また、ヒトコラーゲン配合化粧品原料においては、大量生産に成功し、[INCI名]登録も完了したことから、全世界に向けて販売活動を開始いたしました。

その結果、売上高は36,310千円、営業損失は5,633千円となりました。なお、遺伝子組換えカイコによる事業は、今後、当社の新しい柱となる事業であり、研究開発を行っていることから営業損失となっております。また、当セグメントにつきましては前年同期の実績がありませんので、前年同期の対比は行っておりません。

これらの結果、売上高は800,081千円(前年同期比12.6%減)、営業利益は8,518千円(前年同期比63.8%減)となりました。また、経常利益につきましては、販売契約金の収入を計上したことにより、80,448千円(前年同期比47.0%増)、当期純利益につきましては、投資有価証券の売却益として特別利益を計上したことにより、153,077千円(前年同期比257.4%増)となりました。



株式会社免疫生物研究所

Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

証券コード 4570

# 注目の遺伝子組換えカイコ事業

Featured Business

- 当社は、従来のカイコ絹産業(衣料)から、バイオ薬品(医療)に向けた新しい産業の創出を目指しています。

衣料



医療

- 遺伝子組換えカイコの繭からタンパク質を発現させる技術は、独自の技術であり、多くの特徴を有します。(抗体)



特徴▶

高い生産性

高い均一性

高い安全性

## 1. 試薬、診断薬原料

自社抗体製品の一部はカイコで生産した抗体を使用しており、コスト削減による自社抗体製品の生産効率の改善を行っております。また他社向けの研究用及び診断薬用原料の受託生産を進めています。



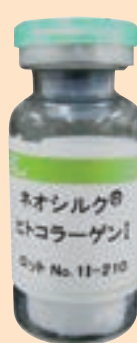
## 2. 化粧品原料

ヒトコラーゲン配合化粧品原料の大量生産に成功し、化粧品原料国際命名法に従って作成された化粧品成分の国際的表示名称である「INCI名」登録も完了し、全世界に向けて販売活動を行っております。



## 3. ワクチン、動物用医薬品原料

インフルエンザをはじめとしたワクチン開発を積極的に進めています。また、動物用医薬品原料となるタンパク質の生産を進めており、GMPなどの高度な規制への要求に応じる医薬品の原料を目指します。



## 決算ハイライト

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,278,985</b>	<b>975,173</b>
現金及び預金	836,809	444,050
受取手形及び売掛金	192,680	272,871
たな卸資産	244,479	251,724
その他	5,016	6,526
<b>固定資産</b>	<b>1,335,092</b>	<b>1,314,164</b>
有形固定資産	961,888	1,012,247
無形固定資産	40,608	60,858
投資その他の資産	332,596	241,058
<b>資産合計</b>	<b>2,614,078</b>	<b>2,289,338</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>241,864</b>	<b>140,878</b>
買掛金	9,154	20,235
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定長期借入金	48,864	31,400
未払金	40,834	44,778
その他	43,010	44,464
<b>固定負債</b>	<b>125,011</b>	<b>55,491</b>
長期借入金	123,915	54,600
その他	1,096	891
<b>負債合計</b>	<b>366,875</b>	<b>196,369</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>2,259,453</b>	<b>2,106,375</b>
資本金	1,571,810	1,571,810
資本剰余金	491,753	491,753
利益剰余金	195,905	42,828
自己株式	△16	△16
評価・換算差額等	△12,250	△13,406
<b>純資産合計</b>	<b>2,247,202</b>	<b>2,092,968</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,614,078</b>	<b>2,289,338</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	800,081	915,370
売上原価	323,066	339,100
売上総利益	477,015	576,270
販売費及び一般管理費	468,496	552,755
営業利益	8,518	23,515
営業外収益	74,046	34,458
営業外費用	2,117	3,231
経常利益	80,448	54,742
特別利益	85,663	—
特別損失	2,998	9,187
税引前当期純利益	163,112	45,555
法人税、住民税及び事業税	10,034	2,727
当期純利益	153,077	42,828

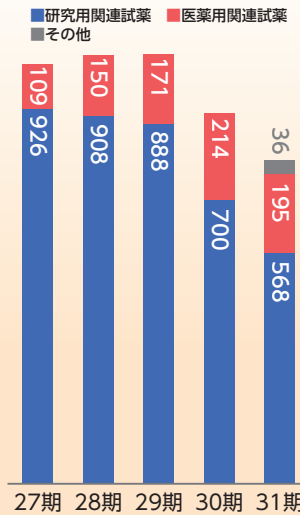
## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,703	125,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,362	△3,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,664	△32,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,746	938
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	381,751	90,259
現金及び現金同等物期首残高	411,943	321,684
現金及び現金同等物期末残高	793,694	411,943

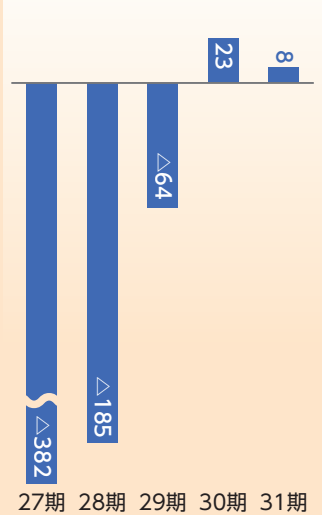
## セグメント別売上高

(単位：百万円)



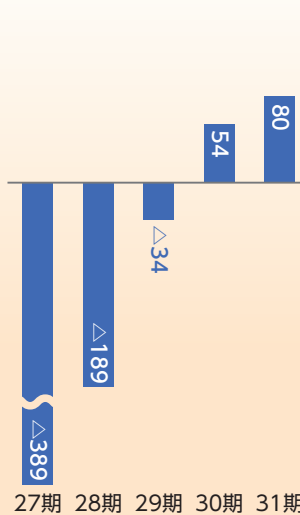
## 営業利益

(単位：百万円)



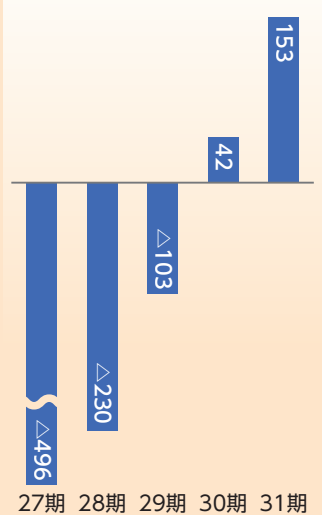
## 経常利益

(単位：百万円)



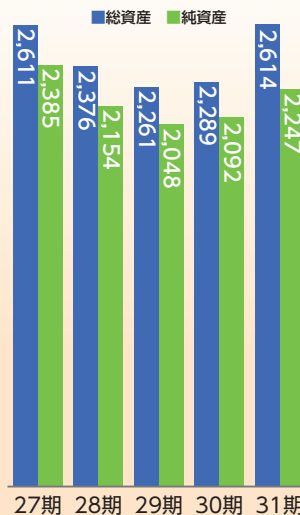
## 当期純利益

(単位：百万円)



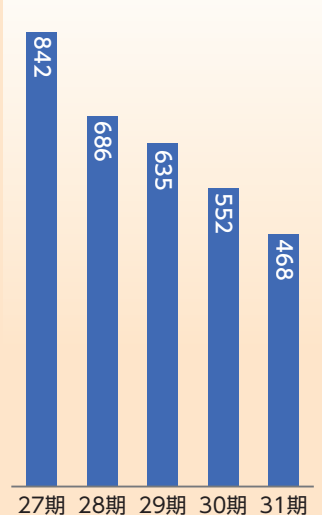
## 総資産・純資産

(単位：百万円)



## 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)



# 会社の概況

## ● 会社の概要 (平成25年3月31日現在)

商号	株式会社免疫生物研究所 Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.
設立	昭和57年9月9日
資本金	1,571,810,000円
従業員数	44名

## ● 主要な事業所

名称	所在地
本社	群馬県藤岡市中字東田1091番地1
三笠研究所	北海道三笠市

# 株式の概況

## ● 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	616,400株 (自己株式14株を含む)
株主数	8,202名

## ● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
清藤 勉	112,370	18.23
松井証券株式会社	29,240	4.74
岩井化学薬品株式会社	20,000	3.24
栄研化学株式会社	12,500	2.03
株式会社東和銀行	10,000	1.62
大阪証券金融株式会社	8,930	1.45
日本生命保険相互会社	8,000	1.30
株式会社SBI証券	6,690	1.09
宇佐美 益則	6,150	1.00
IBL従業員持株会	5,010	0.81

(注)持株比率は、自己株式(14株)を控除して計算しております。

## ● 役員 (平成25年6月27日現在)

### 取締役

代表取締役社長	清藤 勉	取締役	小野寺昭子
取締役	木下 憲明	取締役	宗像 舜秋
取締役	前田 雅弘	取締役	福永 健司
取締役	中川 正人		

### 監査役

常勤監査役	今泉 淨
監査役	石原 靖議
監査役	渡辺 廣之

(注)1. 取締役福永健司氏は社外取締役であります。

2. 監査役石原靖議及び渡辺廣之の両氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
配当の基準日	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告 によることのできない場合は、日本経済新聞 に掲載する方法により行います。なお、電子 公告は当社ホームページに記載しており、 そのアドレスは以下のとおりであります。 <a href="http://www.ibl-japan.co.jp">http://www.ibl-japan.co.jp</a>
公告掲載方法	

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。